

検診機関における要精検率について

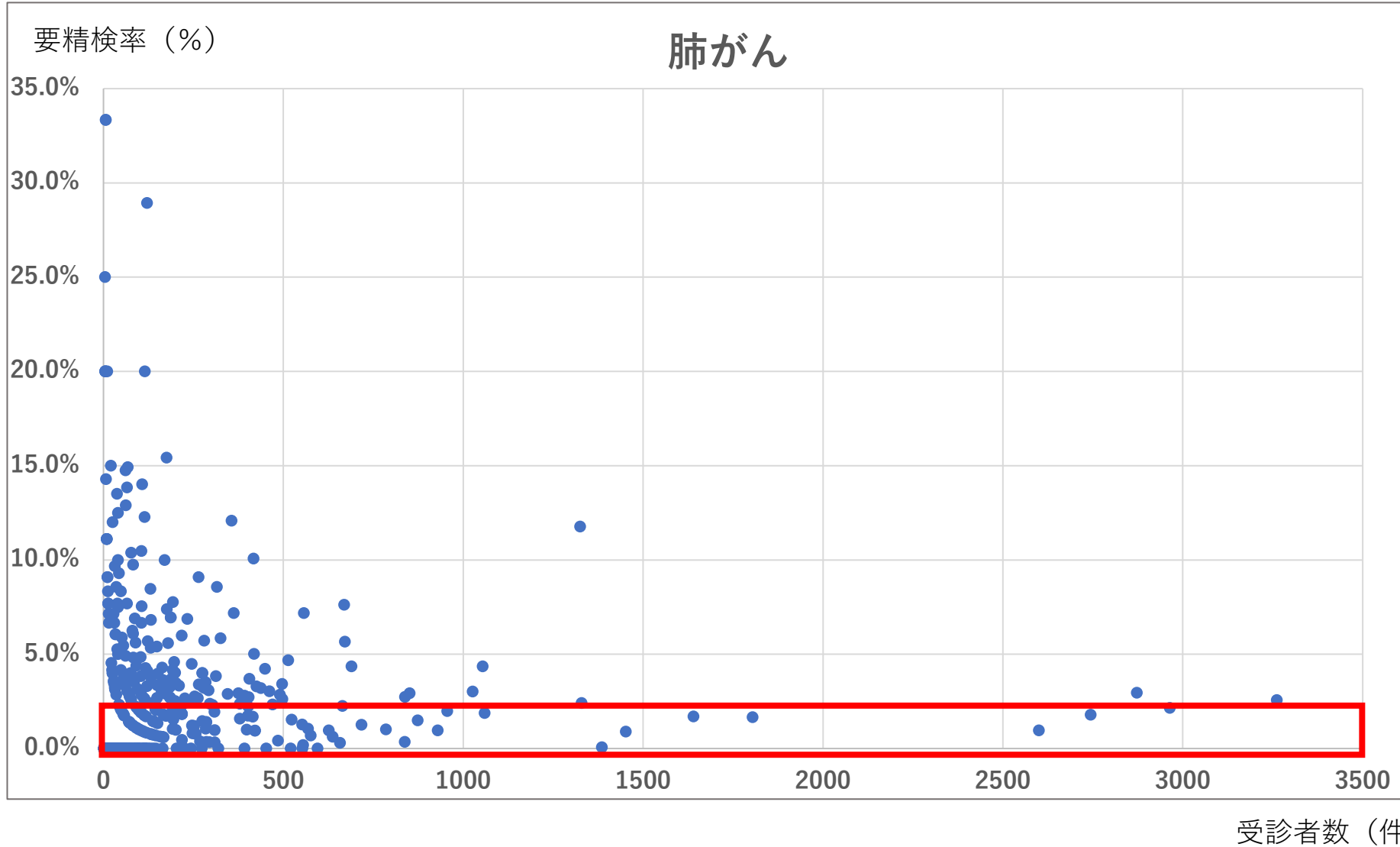
長崎県では、令和 3 年度（令和元年度実施分）より各市町あて「検診機関毎の精度管理指標」の調査を実施しています。

具体的には、市町が委託している検診機関の精度管理指標値（受診者数、要精検者数、精検受診者数、がん発見数等）をがん種別に報告いただいています。

今回、令和元年度実施分の精度管理指標値を集計しました。

要精検率については、許容値を超える医療機関も複数見られたことから、該当する医療機関に対して、精度管理の状況等を確認しながら、必要時改善にむけた働きかけを検討しています。

要精検率の分布図（検診医療機関ごと）



	許容値
要精検率	3%以下
精検受診率	70%以上
がん発見率	0.03%以上
陽性反応的中度	1.3%以上

許容値
3%以下

要精検率	医療機関数	検診受診者	要精検数	要精検率(%)	精検受診者	精検受診率(%)	発見がん数	がん発見率 (がん発見/検診受診者(%))	陽性反応的中率 (がん発見/率精検受診者(%))
0-3	320	68057	1004	▼1.48	882	87.85	47	▼0.07	△5.33
3~6	76	13895	578	▲4.16	474	82.01	22	▲0.16	4.64
6~	67	8252	811	▲9.83	713	87.92	16	▲0.19	▼2.24

①

②

③

④

- ①受診者あたりの要精検数には有意差あり。
- ②要精検対象あたりの精検受診者数には有意差なし。
- ③受診者数当たりのがん発見数に、有意差あり
- ④精検受診者あたりの発見がん数に、有意差あり。

全体の要精検率は2.7%

がん発見率の結果より、要精検率の高い医療機関では、有症状者が受診している可能性が高い。
要精検率の高い医療機関では、陽性反応的中率が低い。